

小学校4学年国語科 年間指導計画の一部「A話すこと・聞くこと」

第4学年		No		1	2	3	4	5	他領域	
		単元名		もしも、 どうしたい	話の中心を 考えながら 友達の話 を聞こう	学校について しようかい することを 考えよう	伝えたいな、 わたしが 成長した こと	調べたことを ほうこくし よう		
		指導事項・言語活動例								
		授業時数								2
〔知識 及び 技能〕	(1)	ア	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	○						
		イ	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。	○					○	
		ウ	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。							○
		エ	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。							○
		オ	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。					○		
		カ	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。							○
		キ	丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。				○			○
		ク	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。							○
	(2)	ア	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。		○					
		イ	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や辞典の使い方を理解し使うこと。				○			○
	(3)	ア	易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。							○
		イ	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。							○
		ウ	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。							○
		エ	書写に関する次の事項を理解し使うこと。							○
			(ア)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと。							○
			(イ)漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。							○
			(ウ)毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。							○
		オ	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つ事に気付くこと。							○
〔思考力、 判断力、 表現力等〕	(1)	ア	目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。				○			
		イ	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。						◎	
		ウ	話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。					◎		
		エ	必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。		◎					
		オ	目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。	◎			◎			
言語活動例	(2)	ア	説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動。	○	○			○		
		イ	質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。					○		
		ウ	互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。				○			

見取りの指標 系統表（話すこと・聞くこと）

指導事項との 関連	低学年	中学年	高学年
ア 話題の設定 情報の収集 内容の検討	○身近なことや自分が経験したことから話題を1つに決めている	○目的を意識して日常生活の中から話題を決めている	○話す目的と場面や状況を考えて話題を決めている
		○身近なことや経験したことの想起や、本や文章を読んだり、人に聞いた りしながら情報を収集している	
	○話題として決めたことに関連する事柄を具体的に思い出し、必要な事 柄に絞っている	○集めた材料を共通点や相違点に着目しながら比べて必要な事柄を選 んでいる ○集めた材料を共通する性質に基づいて分け、必要な事柄を選んでいる ○集めたことが目的に合っているかどうかを確かめ、より適切なものを見 付けている	○集めた材料を話す目的や意図に応じて内容ごとにまとめている ○集めた材料を互いに結び付けて関係を明確にしている
イ 構成の検討 考えの形成	○具体的な聞き手を意識して、聞き手に伝わるように時間的な順序を考 えている ○具体的な聞き手を意識して、聞き手に伝わるように説明する事柄の順 序を考えている ○具体的な聞き手を意識して、聞き手に伝わるように話の構成（始め－中 －終わり）に関わる順序を考えている	○相手に伝わるように理由付けして話を構成している ○相手にとって理解しやすい事例を挙げて話を構成している ○自分の伝えたいことの中心が聞き手に分かりやすくなるような話の構 成にしている（中心と事例、最初の内容と結論）	○話の中心を明確にし、事実と感想、意見とを区別して構成している ○話の中心を明確にし、詳しい説明を付け加えている ○接続語や文末表現に注意して、事実、意見、感想の関係を明らかにし ている ○話の種類や特徴を意識して構成を考えている
ウ 表現 共有	○何を伝えたいのかを意識して、声の大きさや速さについて工夫している	○話の中心について強く伝えるために、言葉の抑揚や強弱、間の取り方 を工夫している	○伝えたいことを強調するために資料を活用している ○説明を補足するために資料を活用している
	○聞き手の人数や聞き手との距離を踏まえ、聞き手に届く音量にしている	○聞き手の人数に合わせて言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫してい る	○聞き手の興味・関心や情報量を予想し、必要な資料について考えてい る
	○聞き手の人数や聞き手との距離を踏まえ、聞き手に音声が明確に聞こ える速さにしている	○場の状況に合わせて言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫している	○目的や意図に応じて、資料の提示の仕方を検討している ○聞き手のうなずきや表情に応じて、表現の仕方を工夫している
		○相手や目的に合わせた言葉遣いをしている	○場面や相手を意識し、敬語を使っている
エ 構造と内容の 把握 精査・解釈 考えの形成 共有		○必要な内容を記録して聞いている ○分からない点や確かめたい点を質問して聞いている	
	○話し手が自分に知らせたいことは何かを考えながら聞いている ○事柄の順序を意識して聞いている	○話の組み立て方を意識しながら話の中心を捉えて聞いている	○話の目的は何かを踏まえて内容を聞き取っている ○自分に伝えたいことは何かを踏まえて内容を聞き取っている ○共に考えたいことは何かを踏まえて内容を聞き取っている
	○自分の聞きたいことを明確にして聞いている ○自分にとって大事なことや知りたいことを落とさず聞いている	○自分が聞きたいことの中心は何かを考えながら聞いている	○自分はどのような情報を求めているのか明確にして聞いている ○聞いた内容をどのように生かそうとしているのか明確にして聞いている ○どういった情報を相手から引き出そうとしているのか明確にして聞いて いる
	○自分の興味を持ったところや感じたことを伝えている ○自分の体験などと結び付けて感想が言える	○聞いたことを基に自分の考えをまとめて書いている ○聞いたことを基に自分の考えを発表している	○話し手の考えと自分の考えを比較して共通点や相違点を整理して自 分の考えをまとめている ○共感した内容や納得した事例を取り上げて自分の考えをまとめている

発問例と実際の発問とのつながり

見取りの指標

指導事項との関連	中学年
ア 話題の設定、 情報の収集、 内容の検討	○目的を意識して日常生活の中から話題を決めている ○身近なことや経験したことの想起や、本や文章を読んだり、人に聞いたりしながら情報を収集している ○集めた材料を共通点や相違点に着目しながら比べて必要な事柄を選んでいる ○集めた材料を共通する性質に基づいて分け、必要な事柄を選んでいる ○集めたことが目的に合っているかどうかを確認し、より適切なものを見付けている
	○相手に伝わるように理由付けて話を構成している ○相手にとって理解しやすい事例を挙げて話を構成している ○自分の伝えたいことの中心が聞き手に分かりやすくなるような話の構成にしている（中心と事例、最初の内容と結論）
イ 構成の検討、 考えの形成	○話の中心について強く伝えるために、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫している ○聞き手の人数に合わせて言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫している ○場の状況に合わせて言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫している
	○相手や目的に合わせた言葉遣いをしている
ウ 表現、共有	○必要な内容を記録して聞いている ○分からない点や確かめた点を質問して聞いている ○話の組み立て方を意識しながら話の中心を捉えて聞いている ○自分が聞きたいことの中心は何かを考えながら聞いている ○聞いたことを基に自分の考えをまとめて書いている ○聞いたことを基に自分の考えを発表している

学びにつながる振り返りのための発問例

○決めた話題は、目的（説明する、考えを伝え合うなど）に合っていますか。
○思い出したことの他に、どうやって情報を集めたらよいでしょうか。
○共通点（違う点）を比べて考えてみましょう。どれが必要でしょうか。
○集めた材料を共通するもののグループに分けてみましょう。どれが必要でしょうか。
○材料の中で、話す目的と合っているのはどれですか。
○この理由を加えると相手は話の内容がよく分かりますか。理由を話す順序について、分かりやすい順序になっていますか。
○（友達）にとって、この例は伝わりやすいですか。詳しく伝えるためにもっと例が必要ですか。別な例の方が伝わりやすいですか。
○話の組み立て方について、（友達）に伝わりやすい組み立て方になっていますか。
○一番伝えたいことを確かめましょう。その部分について話す時は、どんな話し方をするとよく伝わるでしょうか。スピーチメモに書き込んで練習してみましょう。
○聞き手の人数を考えると、どんな話し方をするとよく伝わるでしょうか。
○話をする場面を実際に思い浮かべてみましょう。そこで聞いている人に伝わるようにするには、どんな話し方をするとよく伝わるでしょうか。
○聞き手のことを考えて、丁寧な言葉遣いをした方がよい部分がありますか。確かめながら話してみましょう。
○あとから話の内容について振り返った時に必要だと思うことはどの言葉ですか。
○予め聞きたいことを決めておきましょう。分からなかった部分について質問したら、どんな答えが返ってきましたか。
○一番伝えたいことは何ですか。理由は何かですか。一番伝えたいことは、話のどの部分で話していたことでしょうか。
○どのような内容が予想しながら聞いてみて、自分の聞きたいことについて聞けましたか。
○予想しながら話を聞いてみて、どんな考えを持ちましたか。自分の考えとその理由を書きましょう。
○予想しながら話を聞いてみて、どんな考えを持ちましたか。自分の考えとその理由を発表しましょう。

本單元における振り返りの場での発問

○○さんの一番伝えたいことは何だと感じましたか。
どんな話し方の工夫からそれが伝わりましたか。
（第3時）

相手を見て話すことはできましたか。
聞いている人の様子から分かったことは何ですか。
（第4時）

友達の発表からどんな話し方の工夫を見付けましたか。
自分でも取り組んでみたいと思った話し方の工夫は何ですか。
（第5時）

学びにつながる振り返りのための発問例（話すこと・聞くこと）

指導事項との 関連	低学年	中学年	高学年
ア 話題の設定 情報の収集 内容の検討	○いくつか挙げた中で、一番話したいことはどれですか。	○決めた話題は、目的（説明する、考えを伝え合うなど）に合っていますか。	○この話題に決めた理由は何ですか。それは目的（場面など）に合っていますか。
		○思い出したことの他に、どうやって情報を集めたらいでしょうか。	
	○伝えたいことについて、詳しく話したいと思うことにはどんなものがありますか。具体的に思い出して書いてみましょう。	○共通点（違う点）を比べて考えてみましょう。どれが必要でしょうか。	○集めた材料を内容ごとにまとめてみましょう。目的（場面）に合っているかどうか考えてみましょう。
	○全部話した方がよいですか。選ぶとしたらどれを選びますか。理由は何かですか。	○集めた材料を共通するもののグループに分けてみましょう。どれが必要でしょうか。 ○材料の中で、話す目的と合っているのはどれですか。	○集めた材料同士の関係はどうなっていますか。図や文で表してみましょう。
イ 構成の検討 考えの形成	○（友達）に伝えるようにするには、どんな時間の順番にするとよいでしょうか。	○この理由を加えると相手は話の内容がよく分かりますか。理由を話す順序について、分かりやすい順序になっていますか。	○構成メモの事実のところを丸で囲み、感想のところは線を引いて、事実と感想を分けているか確かめましょう。
	○（友達）に伝えるようにするには、どんな話の順番にするとよいでしょうか。	○（友達）にとって、この例は伝わりやすいですか。詳しく伝えるためにもっと例が必要ですか。別な例の方が伝わりやすいですか。	○一番伝えたいことはどの部分かはっきり分かりやすくなっていますか。それを詳しく説明している部分はどの部分になりますか。
	○（友達）に伝えるようにするには、始め—中—終わりにそれぞれどんなことを話すとよいでしょうか。	○話の組み立て方について、（友達）に伝わりやすい組み立て方になっていますか。	○構成メモの接続語に丸を付けてみましょう。この言葉があると、事実と感想の関係が分かりやすいですか。 ○誰に、どんな話を伝えたいのかをもう一度考え、自分の話の組み立て方を振り返ってみましょう。
ウ 表現 共有	○この場合は、どんな声の大きさ（速さ）が合っているか考えてみましょう。	○一番伝えたいことを確かめましょう。その部分について話すときは、どんな話し方をするとよく伝わるでしょうか。スピーチメモに書き込んで練習してみましょう。	○なぜこの資料を使いますか。一番伝えたいことを振り返りながら考えてみましょう。 ○詳しく説明したい部分はどこですか。資料を使うと、聞いている人はどんなところが分かりやすくなると思いますか。
	○聞いている人はどんな人か思い浮かべてみましょう。どのぐらいの声の大きさだとよく伝わるでしょうか。	○聞き手の人数を考えると、どんな話し方をするとよく伝わるでしょうか。	○聞き手のことを思い浮かべてみましょう。話そうとすることをどのぐらい知っているでしょうか。
	○聞いている人はどんな人か思い浮かべてみましょう。どのぐらいの速さで話すと、伝えたいことがはっきりと伝わるでしょうか。	○話をする場面を実際に思い浮かべてみましょう。そこで聞いている人に伝えるようにするには、どんな話し方をするとよく伝わるでしょうか。	○資料をどのタイミングで、どのように示すと、聞いている人に伝わりやすいでしょうか。 ○聞き手のうなずきや表情を見ながら話すことができたか振り返りましょう。ここが一番伝わっていたと思う部分はどこですか。
		○聞き手のことを考えて、丁寧な言葉遣いをした方がよい部分がありますか。確かめながら話してみましょう。	○（地域の年上の人）に説明するには、どんな言葉遣いが合っていますか。聞き手を思い浮かべてメモを見直してみましょう。

指導事項との関連	低学年	中学年	高学年
工 構造と内容の 把握 精査・解釈 考えの形成 共有		○後から話の内容について振り返った時に必要だと思うことはどの言葉ですか。 ○あらかじめ聞きたいことを決めておきましょう。分からなかった部分について質問したら、どんな答えが返ってきましたか。	
	○話している人が一番伝えたかったことはなんでしょう。それはどんなことから分かりますか。 ○どんな順番で話していましたか。	○一番伝えたいことは何ですか。理由は何ですか。一番伝えたいことは、話のどの部分で話していたことでしょうか。	○どんなことを話していたか、どんな目的で話していたかをはっきりさせて、内容をノートに書きましょう。 ○どんなことを話していたか、自分に伝えたいことは何だったかをはっきりさせて、内容をノートに書きましょう。 ○どんなことを話していたか、考えたいことについて話し手がどう考えていたかをはっきりさせて、内容をノートに書きましょう。
	○自分が一番聞きたいことは何ですか。 ○大事なことをいくつか話していましたか。それはどんなことだったか、隣の人に話しましょう。	○どのような内容が予想しながら聞いてみて、自分の聞きたいことについて聞けましたか。	○自分が知りたいことは何ですか。知りたいことについての情報は話のどの部分かを考えながら聞きましょう。 ○聞いたことをどんなことに生かしたいですか。生かしたいことにつながるようにメモを取りながら聞きましょう。 ○(地域の人)は、どのようなことを詳しく話してくれるか、予想してみましょう。どんなことを特に詳しく知りたいかをはっきりさせて聞きましょう。
	○話を聞いてどんなことを感じたか、話しましょう。 ○話を聞いて、どう思いましたか。話を聞いて、自分のことで思い出したことは何ですか。	○予想しながら話を聞いてみて、どんな考えを持ちましたか。自分の考えとその理由を書きましょう。 ○予想しながら話を聞いてみて、どんな考えを持ちましたか。自分の考えとその理由を発表しましょう。	○話し手の考えと自分の考えを比べながら聞きましょう。聞いた後、メモの中で共通している点と違っている点を抜き出してみましょう。 ○話の中で、なるほどと思ったことを書きましょう。それについてどんな考えをもったかについても書き、発表しましょう。